

令和5年度 学校評価報告書

丹波篠山市立今田小学校
校長 野々口 竜己

1 学校教育目標等

今田が大好き！やさしく、たくましく生きる今田っ子を育む
～夢のある楽しい今田小学校をみんなでつくろう～

2 今年度の重点目標

「学 ぶ」 自ら学び、つながる学びをつくる
「整 える」 学びに向かう姿勢・環境を整える
「つながる」 つながりを大切にする豊かな心を育む

3 学校自己評価結果

(達成状況…A：よく達成できた B：達成できた C：やや課題が残る D：改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
◆学ぶ ・学習指導	特別支援教育の充実	A	ユニバーサルデザインの教室・授業づくりは、教職員間で情報交換し、ユニバーサルデザインを意識して取り入れることができた。 サポートファイル・個別の指導計画を活用し、一人一人の障害の状況等に 応じた指導内容や方法を工夫して実施した。特別支援学級入級を想定する 児童の取り出し指導についても準備して進めた。
	見通しが 持てる授 業づくり と家庭学 習への支 援	B	ゴールを明確にした授業づくりを常に意識して取り組むことができた。 研究を通じて児童に「おたずね」する力、表現力を育むことができた。協 働的な学びに通じるその成果を今後の授業づくりに生かす。 読書の定着に課題がある。学校では、読書カードや本の紹介などの取組を 継続しているが、まだ読書習慣が十分ついていない児童もいる。このこと は、家庭との連携も必要であり、親子読書など、親子で本に親しむ機会に ついて重点取組期間を設けて実施するようにする。
	情報教育 の推進	B	高学年を中心にクロームブックを使った個に応じた指導を進めることがで きた。さらに、個別最適な学びを考えた指導を行う。 情報通信機器の使い方について、活用を家庭と連携して行うことがさらに 必要である。学級懇談会や学校だより等を活用した啓発を行う。 スマホやゲーム機を適切に使用するための指導を（特に生活面で）行い、 家庭とともに情報モラル教育を推進する。
◆整える ・生活習慣 ・環境づくり	学びに向 かう姿勢 の確立	A	児童の挨拶もより積極的になってきた。今後も挨拶を学級活動で取り上 げたり、児童会であいさつ運動に取り組んだりと継続して取り組む。 朝会での集まり等、時間を守って生活する働きかけや声掛けができた。 引き続き、時間を守る取組を行う。 清掃や整理整頓については、さらに児童の意識高揚に向けた取組を行いた い。清掃や整理整頓のゴールを示したり、委員会活動での声かけをし たりするなどの取組を行う。
	安全安心 で学びに 集中でき る環境づ くり	A	学校設備の安全は、児童に加えて教職員、保護者、地域住民、学校関係 者すべての安全につながっていると認識し、安全点検後、速やかに対応 するようにする。 安全教育については、避難訓練実施時等機会を捉えて、さらに児童の安 全意識を高め、自分で判断して動けるように指導を行う。

	姿勢を整える力の育み	A	運動の習慣化と体力・運動能力の向上に向け、体育の時間の指導や休み時間の運動、健康安全・体育的行事を通じ、年間を通した取組を行う。児童に関する情報共有を行い、心と体のコントロールの仕方について指導を行う。
◆つながる ・地域とともにある学校づくり ・生徒指導	ふるさと学習の推進	A	ふるさと学習3か年計画「発見・発想・発信」の3年目、総仕上げとして「発信」に取り組んだ。学習発表会をはじめ様々な機会を通してその成果を発信し、児童が今田の良さを考える機会とすることができた。
	道徳教育・人権教育の充実	A	教育活動全体を通じて児童の道徳性・人権意識を高揚させることができた。今後も児童の頑張りや成長を認める取組とともに、自分も周囲も大切に「おはよう」「はい」「ありがとう」を増やし自尊感情や自己有用感を高める。 高学年の低学年に対する姿勢はとても温かく、低学年も慕っていた。
	生徒指導における協働体制の確立	A	職員会議や職員打合せ等で、児童の情報共有を頻繁に行い、問題行動の未然防止、早期発見・早期対応ができた。定期・臨時の生徒指導委員会を開き、速やかな対応ができた。今後も未然防止を第一と考え、学級での諸活動や縦割り班、委員会、クラブなどを活用し、児童の温かい人間関係づくりを積極的に支援する。

4 学校関係者評価結果

(1) 重点目標についての評価

・学校教育目標「今田が大好き！やさしく、たくましく生きる今田っ子を育む」や重点目標「学ぶ」「整える」「つながる」は、簡潔でわかりやすく良い。

(2) 総合的な評価（意見・感想）

・創立150周年記念事業として、多くの事業を実施していただいた。どれもが地域と関わるような事業であり、地域住民も多く参加することができた。運動会での「今田小唄」総踊りは、地域の方もとても喜ばれていた。
・見守り隊の高齢化と減少傾向は、課題である。今後も、まちづくり協議会や自治会長会と連携して確保に向けて動くことが必要である。

(3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

分野	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
◆学ぶ ・学習指導	・読書活動は、現在他に興味を引かれるものが多く、充実させることはなかなか難しい。現在取り組んでいるお話し会やブックトーク、親子読書などを継続していくことがよい。特に親子読書は家庭でもしていきたい。 ・スマホやゲーム機などのルールは、各家庭がすべきことと認識している。しかし、子が友だちと遊ぶ中で、友だちの家庭のルールはどうなっているのか、と思うこともあり、今年度PTA研修として情報モラルの研修を持った。
◆整える ・環境づくり	・生活習慣は概ね安定している。 ・清掃や整理整頓は、子供はできていると思っているが保護者は十分でないと思っているギャップがある。子供がどこまでしたらいいのか考えてイメージをつくるのが大切。
◆つながる ・地域とともにある学校づくり ・生徒指導	・学習発表会での発表は、今田についての学びを深めたものでよかった。ふるさと学習の3年目にふさわしい発表だった。 ・自己肯定感が高まっている傾向にあって良い。子供同士の人間関係上のトラブルは必ず起こるし、トラブルを通じて成長していく。トラブルはあっても解決できる関係づくりを進めてほしい。